

越前町議会・令和6年3月定例会一般質問【中西 清議員】

(令和6年3月6日 午後0時59分 開始)

○6番(中西 清君) それでは、議長のお許しをいただいたので、質問要旨にのっとって質問させていただきます。

自然大災害への備えについて。

このたびの能登地震は能登町周辺には甚大な被害をもたらし、復興もままならない中、進まない状況です。まず、亡くなられた方に心よりお悔やみ申し上げます。また、被災された方々にお見舞い申し上げます。

この地震で越前地区に初めて津波警報が出され、多くの町民が高台などに避難しました。また、これまで越前町内でも豪雨水害や高波などによる被害が頻繁に起きています。越前町における防災体制について伺います。越前町において今回の能登地震による被害はありませんでしたか。

○議長(佐々木一郎君) 総務理事。

○総務理事(菅原辰彦君) それでは、中西議員のご質問にお答えします。

能登半島地震による本町における被害としましては、転倒によるけが人1名、家屋の一部損壊と設備被害が各1件、事業所における設備被害が1件確認されましたが、道路、漁港、水道施設等や町が所有、管理している施設への被害は確認されませんでした。

○議長(佐々木一郎君) 中西 清君。

○6番(中西 清君) 次に、大津波警報、津波警報が出たら、速やかに高台などの安全な場所に避難する行動を取ることを気象庁では定めています。まず自分の命を守るという東日本大震災の教訓もあり、越前地区では多くの町民が車や徒歩で高台などに避難しました。

しかし、1人暮らしの高齢者、高齢者夫婦の中には避難を諦めた方も多くいたと。織田方面への国道、県道、町道が混雑したこと、高台の小学校や中学校が施錠されていて避難が遅れたなどの問題点も町民から出ています。

正月休みでやむを得ない面もありましたが、町としては避難警報を放送する以前にどのような対応をされましたか。また、具体的な状況を把握し、今後の対策などの検討を行った結果を伺います。

○議長(佐々木一郎君) 総務理事。

○総務理事(菅原辰彦君) 今回、多くの住民の方が地震の大きな揺れ、報道や町からの呼びかけに対応し、迅速に避難されていました。

町では、地震発生後、職員が役場に参集し、町災害対策本部を立ち上げるとともに、防災行政無線放送により避難の呼びかけを行ったほか、メールやLINEを活用した避難情報の伝達、職員による避難誘導、学校体育館に避難所を開設し、暖房用の灯油や湯沸かし用のガスコンロを用意しました。

現地では、職員が避難所を運営し、現場状況を報告したほか、消防団による各地区の避難者数の把握を行っています。道路混雑対策としましては警察と消防団が交通整理を行いました。

しかしながら、勤務時間外における職員の参集、道路混雑の予防、避難所における職員の迅速な配置と暖房、食事など運営に関すること、避難住民への情報の提供に関することなど、対応について課題が浮き彫りになりました。

現在、発生から避難指示解除までの出来事の一つ一つを振り返り、検証と今後の対応の検討を行っています。今回の実体験を踏まえて、区長との連携をこれまで以上に密接にし、地域住民が円滑に避難できるよう努めてまいります。

○議長（佐々木一郎君） 中西 清君。

○6番（中西 清君） 越前海岸から敦賀にかけての断層があり、今後、地震が起きる可能性もあります。越前地区にはレッドゾーンの急傾斜と日本海に挟まれ、住宅も古く、高齢者率が高い地域で、地震や高波、豪雨などの災害が起こると、能登地方のように土砂災害など集落が孤立するおそれもあります。

各集落の防災組織と協力して、地域の実態に合った防災計画、避難計画、災害種別に応じた避難所の確保など、実効性のある計画を立てる必要があると考えますが、いかがでしょうか。

○議長（佐々木一郎君） 町長。

○町長（青柳良彦君） それではお答えいたします。

町では、まずは職員の初動対応が重要であると考え、今回の反省点を踏まえて、より詳細な初動対応マニュアルを作成し、迅速な対応ができるよう体制を既に整えました。

また、地域をよく知る地元住民へ緊急避難場所の開設、運営を委ねることにより、迅速でかつきめ細やかな対応ができることから、今年度より自主防災組織補助金の対象物品に避難所開設に必要な物品を追加し、自主防災組織の設立促進に努めています。

災害の種別に応じた避難場所は、津波の場合には高台にある小・中学校や各地区の神社など、30か所を指定しており、その他の災害における避難場所もハザードマップに記載することで、住民への周知に努めています。さらに災害対応の実効性を高めるため、集落ごとの地区防災計画の作成を促しています。

また、能登半島地震発生後からは、町内の地域団体で防災や津波対応関連の研修会を開催する動きが活発になっていきますので、これらの機会を踏まえ、より一層の防災意識の向上に努めてまいります。ほかにも地域防災の要である消防団となお一層連携し、災害対応力の強化に取り組みます。

能登半島地震を受け、国・県の計画見直しは想定されますが、これら上位計画と実体験を踏まえて、当町の地域防災計画を充実させてまいります。

以上です。

○議長（佐々木一郎君） 中西 清君。

○6番（中西 清君） 町内でもこれまで豪雨災害やら高波、家屋浸水や倒壊、農地への被害、漁業の被害などありました。被害者に対する支援金や見舞金が極めて少ないという話をよく聞きます。今後また考えていただきたいなと思って発言させていただきます。

次に移っていきます。

観光地にふさわしい公衆トイレの改善について。

北陸新幹線の敦賀延伸に伴い、各自治体では観光客の誘客のため様々な取組みが進んでいます。越前町でも多くの観光地がありますが、基本的には車での観光客が中心です。特に越前海岸は中京や関西からの観光客や釣り客、海水浴客が多く、ほとんどが車利用者です。

越前地区内には十数か所の公衆トイレを確認できましたが、和式便器のみのトイレもあり、施設も古く、汚れたところもあります。最近ではきれいでユニークなトイレも売りにしている誘客を凶る自治体も観光地も増えています。地区内のト

トイレについて維持管理の範囲、清掃等の担当について伺いたい。

○議長（佐々木一郎君） 産業理事。

○産業理事（原 雅哉君） それでは、中西議員のご質問にお答えいたします。

現在、越前地区には町管理の公衆トイレが13か所あり、そのうち5か所を農林水産課、8か所を商工観光課が担当しております。清掃作業は越前町シルバー人材センターに委託し、トイレ内のほか、屋外や周辺の清掃を週に1、2回の頻度で行っており、特に海水浴シーズンは回数を増やして行っています。

○議長（佐々木一郎君） 中西 清君。

○6番（中西 清君） 公衆トイレも昨今の生活様式に合わせて、洋式便器、ウォシュレットへの更新や多機能トイレの整備を進めてはどうか。

○議長（佐々木一郎君） 町長。

○町長（青柳良彦君） それではお答えいたします。

公衆トイレの洋式化については、便器が複数あるトイレは少なくとも1つを洋式に改修してきました。なお、男女ともに便器が1つしかない場合は洋式に抵抗のある方もいらっしゃることから、和式トイレを残す形で進めております。

また、多機能トイレについては、既存の多機能トイレの使用状況等を踏まえ、検討してまいります。

以上です。

○議長（佐々木一郎君） 中西 清君。

○6番（中西 清君） すみません。今の答弁ですけれども、私自身が20数年前に洋式に変えて、最近までは、10年ほど前ぐらいまでは和式でも十分使えましたけれども、最近は何のせいかわからない洋式しか使えんようになりました。だから今の和式だけが1つというのは、時代の流れに遅れつつあるから改変していったほうがいいと思います。

次に移ります。

ほとんど海岸沿いにあるため、高波などによる被害や損傷も懸念されていますが、外壁補修や消毒液などの衛生品の備え付け、道路への案内板を設置してはどうか。

○議長（佐々木一郎君） 町長。

○町長（青柳良彦君） 議員ご指摘のとおり、海岸線は強風や高波などで外壁等を破損することがありますが、公衆トイレの修繕等については、ふだんから早めの対応を心がけております。

また、ご提案の便座の消毒用品や道路案内板の設置についてですが、消毒等の衛生用品は管理の面から新たな設置は考えておりません。道路案内板は公衆トイレの箇所が多く、屋外広告物の規制や設置場所などの課題もあることから対応は難しいと考えております。今後、公衆トイレと認識できるよう分かりやすい標示板の取付けなどを検討したいと思っております。

町としましては、今後も越前町を訪れた皆様に気持ちよくご利用いただけるよう維持管理に努めてまいりますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。

○議長（佐々木一郎君） 中西 清君。

○6番（中西 清君） トイレについて、また今後も地域内にあるトイレですので、時を見て、使用もさせていただき、見ていくと思っておりますので、今後よろしく願いします。

これで私の一般質問を終わります。

（午後1時14分終了）